

消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

【事例概要について】

• •

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	救急出動時、傷病者を車内収容し病院へ搬送開始した直後、救急車側面のスライドドアが開き、慌てて車両を停車し、スライドドアを閉めたもの。
3. 体験した事例の中心的要素	傷病者が自力歩行可能だったので、救急車側面のスライドドアから車内収容し傷病者に気を取られてしまい、スライドドアをしっかりと閉めていなかった。
4. 体験した事例の原因・理由	救急車側面のスライドドアは、オートクロージャーになっているのでドアの閉鎖確認を隊長、隊員、機関員が怠っていた。

【体験した事例の直接的原因について】

• •

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

• •

1. 発生日時	平成 20 年 7 月 21 日 午後 7 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：庁舎敷地内
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	交通事故
7. 事例体験時の活動	救急、現場活動初期 []
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	搬送中
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[32]歳、 勤続年数[12]年、 現場経験年数[11] 年、 階級[士長]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [車長]
○当事者 B	年齢[23]歳、 勤続年数[2]年、 現場経験年数[1]年、 階級[消防士]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [隊員]
○当事者 C	年齢[29]歳、 勤続年数[7]年、 現場経験年数[6]年、 階級[副士長]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [機関員]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者 B	消防署に自ら着た傷病者と接触する。	
経過 2	当事者 A	詳細観察、処置を実施し病院問い合わせする。	
経過 3	当事者 C	救急車を車庫から出し、搬送準備をする。	
経過 4	当事者 A, B	傷病者に付き添い、車内収容する。	
経過 5	当事者 C	車内収容を確認して、搬送開始する。	
経過 6	当事者 A, B	搬送開始直後、後部のスライドドアが開いた事に気づき車両を停車するよう指示する。	
経過 7	当事者 C	車両を停車させる。	
経過 8	当事者 A	スライドドアを閉める。	
経過 9	当事者 C	搬送を再開する。	
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

• •

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、事故にならなかつた。その他：隊長、隊員が異常に気付き、すぐに停車させた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があつた。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】

.....

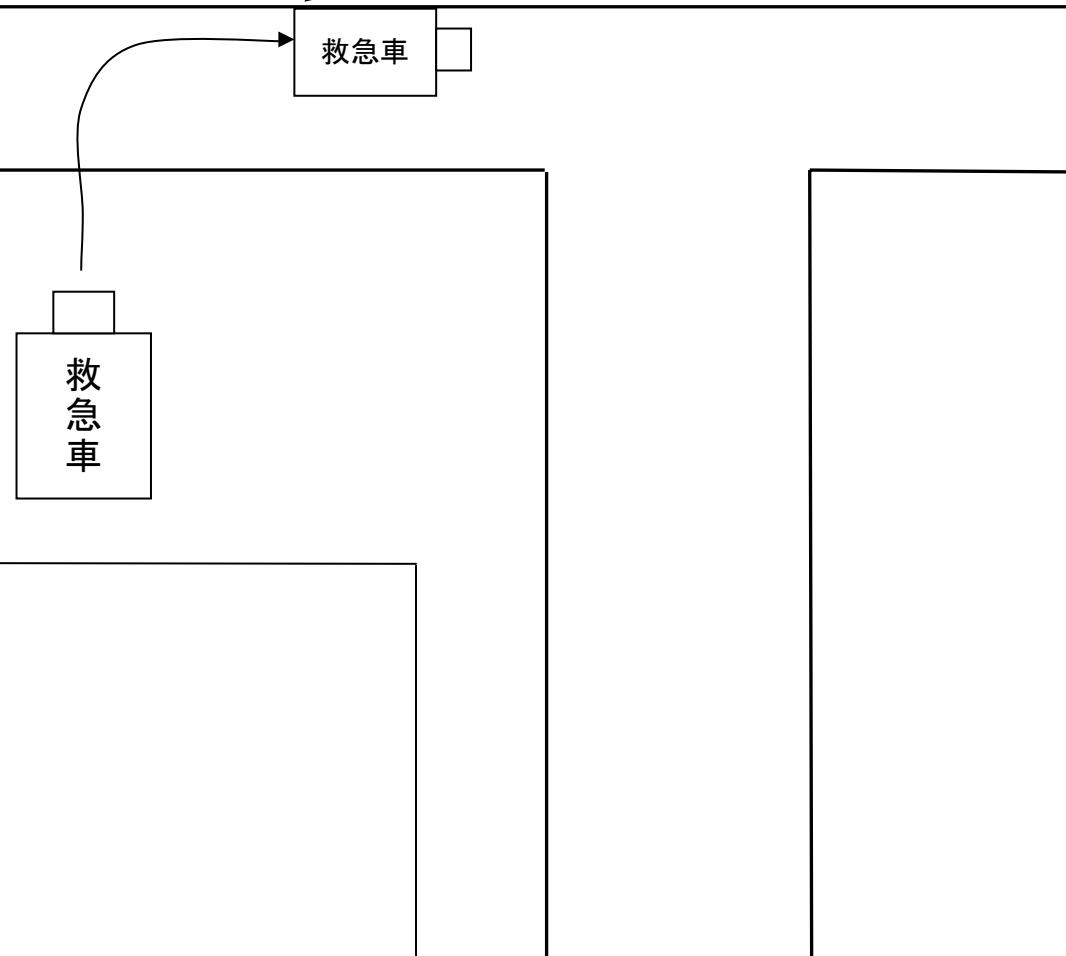
○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

搬送開始して、消防署前の道路に救急車が出たところ、車両後部のスライドドアが開き緊急停車したもの。



消防署